

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 6 月 7 日

事務事業名		収納率向上対策事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	020702000390
		総合計画の施策名				単独/補助	単独	所属課	030201
		0207 地域医療制度の充実				主要事業		国保年金課	
政策体系		政策名	02	安心と安らぎのある健康福祉社会づくり		市長マニフェスト			
		施策名	07	地域医療制度の充実		未来PJ事業		グループ 国保税G	
		基本事業名	02	医療保険制度の充実		合併建設計画事業			
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	国民健康保険特別会計		
	02	01	02	02	01	00	滞納処分事業		
法令根拠	地方税法						単年度繰返し (年度~)		
							← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
国民健康保険税の滞納者に対し、種々の手法を用いて滞納処分を実施しそれにより収納率の向上を図る事業である。	定期的な納税相談のほか、色封筒による催告書発送、電話催告、滞納処分、職員全体による訪問徴収などの滞納整理を実施する。催告書の郵便料については、税務総務事業から支出する。収税課との連携をとり、担税力が弱い低所得者の滞納については、実態調査を行い執行停止及び不納欠損をして不良債権の整理を行う。滞納者に対しては、短期保険者証または資格者証の交付により、納付を促す。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
納税相談、催告書発送、滞納処分の実施	一斉推進件数	件	576.00	831.00	400.00	400.00	400.00
	定期納税相談件数	件	711.00	663.00	750.00	750.00	750.00
	短期保険者証及び資格者証の世帯数	世帯	795.00	791.00	700.00	650.00	600.00
	催告書発送件数	件	857.00	791.00	700.00	700.00	700.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
国保税滞納者及び滞納額	滞納者数(滞納繰越件数)	件	4,094.00	3,411.00	4,100.00	4,100.00	4,100.00
	滞納額(繰越分)	千円	479,020.00	382,012.00	470,000.00	470,000.00	470,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
滞納者に滞納額を完納させる。納付に対する不公平感を取り除かれると共に国保事業が健全に運営される。	不能欠損額	千円	44,866.00	97,642.00	80,000.00	80,000.00	80,000.00
	納付金額(滞納繰越分)	千円	89,490.00	91,756.00	90,000.00	90,000.00	90,000.00
	収納率	%	18.68	19.84	20.00	20.00	20.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	0	0	2	2	2	
			事業費計(A)	千円	0	0	2	2	2	
	人件費	正規職員従事人数	人	5.00人	5.00人	5.00人	5.00人	5.00人		
	述べ業務時間	時間	4,500.00	4,500.00	4,500.00	4,500.00	4,500.00			
	人件費計(B)	千円	13,055	13,055	13,055	13,055	13,055			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	13,055	13,055	13,057	13,057	13,057			

27年度事業費 実績(千円)

28年度事業費 予算(千円)

事業費の内訳							
		合計		0			合計

(4) 当該年度の実施内容

28年度の事業内容

29年度の事業内容

30年度の事業内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する

- ・主要事業
- ・市長マニフェスト
- ・未来PJ事業
- ・合併建設計画事業



事務事業名	収納率向上対策事業	事務事業No.	20702000390	所属課	国保年金課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
以前よりこの事業については、力を入れていたものではあるが、平成24年度に収納率向上アドバイザー派遣事業に参加したことをきっかけに、更に国保事業の健全、適正な運営と公平な税負担のために力を注いでいる。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
国保運営協議会や監査委員会から徴収対策を計画・実施し、収納率向上を図るようにすることと指摘を受けている。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
今後も催告文書については工夫を重ね、さらに収納課との連携により納税相談、実態調査を行い納付できる状態にある滞納者に対しては適切な差押等を行い、低所得者や生活が困窮している滞納者に対しては、執行停止及び延滞金の免除等の適切な滞納処分を実施し、収納率の向上に努める。	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	滞納額を完納させ、減少させることは税負担の不公平を是正させるとともに国保事業の健全な運営に結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	国保事業の健全・適正な運営と公平な税負担のためには実施が不可欠である。保険事業の運営は市であり、市として実施する以外ない。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	H26年度の収納率は、現年度分が 91.34%、滞納繰越分が 18.68%となっており、県内で第19位である。桜川市よりも高い収納率を挙げている市町村があるので、さらに収納率向上に取り組む必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	地方税法その他の法令により市町村に実施が義務付けられている事務であり、廃止・休止できない。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	具体的手段、事務事業名 収納率向上において、市税と連動する滞納者や国保税のみの滞納者の一部について訪問徴収、滞納処分等を行っている。また、納税相談においては合同で実施しており、常時連携を図っている。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げるに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費はわずかな郵便料しか存在しないため削減の余地はない。 滞納整理(臨戸訪問)・納税相談・催告書送付・電話催告等が主な業務であり、この業務を遂行するに当たり必要なもののため人員削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	滞納者全員に働きかけており、この事業の効果によって不公平さが是正されている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	収納率においては平成22年度に下落したがその後4年間上昇している。平成28年2月現在においても昨年度より若干上昇しているため、このまま出納整理期間を含め収納率向上に努める。																								
②有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	②																							
		コスト削減優先度評価結果	⑨																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>